

かわち



頌春

河内町役場職員一同
河内町議会議員一同

'11年広報かわちバックナンバー

☆ 2011年の広報かわちを再現してみました。☆



編集・発行 河内町役場秘書広聴課
〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/>
モバイル版アドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/mobile/index.html>

河内町モバイルホームページ
QRコード
※QRコードは読みとれない場合もあ
りますのでご了承ください。





河内町議会議長
雑賀正幸

小さくても“キラリ”と光る 大きなまらづくりをめざして



河内町長
野高貴雄

新年明けましておめでとうございます。輝かしい2012年の新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年発生しました東日本大震災は、世界に衝撃を与え我が国に未曾有の困難をもたらす結果となり一刻も早い復旧、復興に向けた取り組みが最重要課題です。

そして、海外では欧州危機に端を発した経済危機があらゆる方面に影響を与えております。国内に目をむけますと環太平洋経済連携協定(TPP)については、国は交渉参加の意思を表明いたしました。与党内でも統一した見解とはなっておりません。そして、円

新年明けましておめでとうございます。皆様には、新しい年をお迎えのこと心よりお慶び申し上げます。また、平素より行政運営にご理解とご協力を頂き、町議会を代表いたしましたして厚く御礼申し上げます。

昨年は、3月11日に東日本大震災で甚大な被災をされ、さらには福島第一原発事故が発生し放射能汚染が拡大しております、今でも予断が許されない状況ですが、迅速な復興と安全な暮らしが保たれるよう国、東京電力の対応が急務と考えております。また、国内の経済は歴史的な円高水準で定着などからの輸出環境の悪化の影響により、日本

高対策、雇用環境の悪化など厳しい経済情勢が続いており、大きな問題が山積しております。

河内町の基幹産業は農業です。第三セクター(株)ふるさとかわちでは、「おかずのいらぬかわちのお米」に加えて、茨城県産地品種銘柄米「とねのめぐみ」も知名度を上げ、売り上げも順調に伸びております。また、原発事故に伴う風評被害に對ししても放射能測定を通して安全・安心を訴えるとともに、農家の経営安定、支援の為に地域ぐるみで骨太な農業を目指してまいります。

学校教育におきましては、本年4月より長竿小学校・源清田小学校が統合され、みずほ小学校としてスタートします。今まで築いてきた歴史、伝統を引き継ぎ、新たな歴史を築きあげていきたいと思います。同時に、改めて地域住民の皆様のご理解に感謝申し上げます。

全国的に少子高齢化が急速に進む中、幼稚園跡地利用として子育て世代に向けた町営住宅を建設し若者の定住促進を進めたいと考えております。

また、高齢者の方が知識と教養を高め、競技会やクラブ活動を通し、充実した生活を送っていただくことと創設しました「かわち寿大学」は、すでに600名を超える学生が誕生し、積極的社

の経済は明るい見通しが立たず、極めて厳しい雇用環境が一層悪化し、デフレは更に深刻な状況など、課題が山積されました。また一方で、年頭に政権与党の民主党による菅内閣が内閣改造をしたものの、政治の混乱が続く野田首相に交代し、TPP交渉参加表明の是非、復興予算成立の遅れなどねじれ国会のなか、混乱した政治が続いた年でした。

国際問題では、欧州連合EUのユーロ圏でギリシャの財政粉飾問題をきっかけに、財政支援の悪化に直面し、財政再建の成果が上がらないばかりか、イタリアなどに拡がっている、その深刻さは政界経済の減速が顕著化して、今後の状況が危惧されることでもあります。また、環太平洋経済連携協定TPPは、例外無き関税撤廃が原則であり、国内の農業や医療問題について解決のめども立っておらず、交渉参加には反対していきたく思います。一方、4年に1度行われるサッカー女子ワールドカップでは、世界の強豪を相手に熱戦を繰り広げ、なでしこジャパンは決勝戦をPK戦でアメリカを破り世界一となる快挙に、震災、原発問題のなか日本中がその功績に歓声が沸くという明るい話題もありました。

河内町では、少子高齢化が年々進行

会参加に向けた取り組みが行われております。これからは誰もが住みよく笑顔あふれる町づくりを進めてまいりたいと思っております。

県道美浦・栄線バイパスが一部供用開始されました。今後は、圏央道との交通ネットワーク連携を含め、生板バイパスなど道路交通網の整備により若草大橋を利用しての千葉県との交流が促進され、更なる河内町の活性化に結びつくことと思っております。

昨年は茨城県町村会長として、東日本大震災、並びに放射能対策に関する要望書を県及び、東京電力、国会議事堂へ何度も赴き事態の収束を要請してまいりました。そして、今後も引き続き関係機関等へ強く申し入れを行い、一刻も早い事故の収束と住民の皆様健康と安心に向けて尽力してまいります。

これからも、町民の皆様の積極的ご意見を反映しながら、元気・やる気度「小さくても“キラリ”と光る大きな町づくり」を目指し、全力で取り組んでまいります。どうか皆様方のご協力をお願い申し上げます。

最後に、被災者の皆様の一日も早い復興をお祈りいたしますとともに本年が良い年でありませうとご祈念申し上げます。

し、65歳以上の人が3割に近い現状で、寿大学を中心に高齢者の活力ある健康作りと、年間の出生がここ数年50人前後となっているのを解決するため若者の定住を図る必要があります。また、景気の間では、TPP交渉によって米価が今以上に低迷するという状況では今後の農家の存続も危ぶまれ、銘柄化を進め販売力ある農業への転換を強力に進めなければならない状況であります。

このような中、将来の河内町が「若者が定住したい町」になることを目指し、子育てを支援する住宅の推進、少人数の学校を適正な規模にして教育環境の充実を図るなど多様化する住民のニーズに応えるため、より一層の対策を講じなければなりません。我々議会一同このような状況を乗り越え、皆様と問題意識を共有し課題解決に全力を傾け、町発展のため、町民の代表として、将来の町づくりに誠意努力する所存であります。

今年一年の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も議会に対して相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。謹んで新年のごあいさついたします。